

10月26日(月)

賛美する

今日の力

2015年10月26日～11月1日

翻訳 伊藤若菜

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

聖書朗読 ヨハネ 2:12～25

あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。

I コリント 6:19

私達は友人ご夫妻と一緒に評判の良いイタリアン・レストランで食事を共にすることを楽しみにしていました。料理は悪くなかったのですが、ちょっと騒々しいレストランでした。けたたましい音楽、周りを気にすることのない笑い声、叫ぶお客さんなどが原因です。私達は同じテーブルでの会話なのに、叫ばないと互いの声が聞き取れないような状況でした。あまりにも酷い状況で会話の内容に集中出来ませんでした。何だかみじめな夜になってしまいました。

過越祭のためにエルサレムにイエス様が到着された時、神殿は大混乱していました。イエスのお父様の神聖な家は汚され、店を開いていた者達に乱暴に取り扱われていました。本来なら神を賛美する人達で埋め尽くされているはずなのに、全く違う状況でした。そこはけたたましく鳴く雄牛達、メーメー鳴く羊達、落ち着かない馬達、値引き交渉をする常連客、そしてお金がジャラジャラする音で溢れていたのです。

今日の礼拝堂はどうでしょうか？ そこに集まる神の子達の心構えはどうでしょう。礼拝のための場所に相応しい振舞いをしていますか？ 日々の生活の中で感じる心配事に邪魔されたりしていますか？ 思い煩うことで脱線したりしていませんか？ 尽きぬ不安はありますか？ 混乱した心に支配されてはいませんか？

私達も雑念を取り去り、混乱を抜け出し、イエス様のように心から賛美するようにしましょう。

讃美歌 352

祈り 聖なる父よ。私達が賛美をお捧げする気持ちを持てるようお助け下さい。あなたと共にいれば心配することはないことを思い出させて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

マイケル・オニール

フロリダ州 タイタスビル

10月27日(火)

愛 と は

聖書朗読 ヨハネ 3:13～21

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ 3:16

ユダヤ人で指導者的立場にあったニコデモは、彼が抱いていた疑問点がずっと気になっていました。彼は夜抜け出し、イエス様を見つけました。イエス様がニコデモの内なる疑問に答え始めた時、ニコデモは挨拶すら終わっていませんでした。人はまた新しく産まれるとイエスは言われました。ニコデモはその言葉の意味をすぐ理解することが出来ませんでした。

今日の聖書箇所には、『神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。』（ヨハネ3:16）とあります。イエス様が伝えようとしたこのメッセージにニコデモは圧倒され、『モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまたあげられなければなりません。』（ヨハネ3:14）とイエス様が語られた預言が何を意味するのか、ニコデモが吟味するゆとりは無かったかもしれません。

神は世界を愛しておられます。しかし、その愛の実践は恐ろしい出来事を通してなされました。冷酷な十字架という厳しい現実の出来事を通してです。蛇がイスラエル人を襲った際に、モーセは死を象徴する醜い蛇をかたどり、それを旗ざおの先に付けました。この旗ざおの先に付けられた蛇を仰ぎ見るものは生きるという神の約束を信じて、蛇を仰ぎ見た人たちは癒されました（訳者注：民数記21:4～9を参照）。

私たちが神の愛を見るためには、信仰をもって十字架を仰ぎ見る必要があります。イエス様は私たちの罪のために醜い仕方で犠牲になって下さいました。神の壮大な愛がそうさせたのです。私たちは神が私たちを愛して下さいていることを知る上で、これ以上の証拠は必要はないのです。

讃美歌 142

祈り 素晴らしい神よ。愛は大変な犠牲を伴う難しいものであることを理解させて下さい。私たちもあなたのように愛せますように。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ビル・ヘネガー

カリフォルニア州 ウエストレイクヴィレッジ

10月28日(水)

全 能 な る イ エ ス 様

聖書朗読 ヨハネ 6:1～14

あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあつて歩みなさい。キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおり信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。

コロサイ 2:6～7

「五千人の給食」の出来事は、私たち人間にとってイエス様が必要だということを示しています。イエス様はその事実を大変よくご存じです。

信仰心を証明する目に見える証拠はありません。この世における一般常識や合理主義は本当の信仰心とは相反するものかもしれません。どんな時でも神と共に居れば強く居られることを覚えましょう。そして、神は希望を与えて下さる存在であることも覚えましょう。

そして、私たちが取るに足らない存在でもイエス様は私たちの必要を備えてくださり、与えて下さるのです。子どものように素直な心でイエス様の御前に居るようにしましょう。神にとっては本当に大切な物、大切ではない物、大切な人かそうでないかなどの区別はないのです。どんな短い時間の祈りでも神は聞いて下さいます。そして、たとえ短い時間の奉仕であろうとも、神は祝福して下さいましょう。

祝福はただ一方的に受けるものではありません。きちんと御心に従えるように準備しておきましょう。「人々をすわらせなさい」とイエス様は言われました。そして祝福をお与えになりました。イエス様が命令された所についていきましょう。主の言葉に従い、信じましょう。そうすれば、イエス様は慈悲を下さるでしょう。

聖歌 588

祈り 神よ。日々あなたの恵みを忘れずに生きていけるようお助け下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ロナルド・テイラー

カリフォルニア州 カリマロ

10月29日(木)

た　だ　一　人　の　私

聖書朗読　ヨハネ　6:60～71

すると、シモン・ペテロが答えた。「主よ。私たちがだれのところに行きましょう。あなたは、永遠のいのちのことばを持っておられます。私たちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています。」ヨハネ　6:68～69

ティガーは「くまのプーさん」に登場する活発で目立つキャラクターです。彼の上半身はゴムで出来ていて、尻尾はバネで出来ています。このキャラクターはとても重要な登場人物です。子どもたちは良く彼の口癖を真似します。ティガーは物語を楽しくするだけでなく、他の誰も真似できないような個性を持っているのです。

イエス様はご自身について、世の光、いのちのパン、良い牧者、そして、門であると説明しておられます。『イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」』(ヨハネ14:6)。この希望のない世に生き、迷う私たちを救うためにイエスは情け深さをもって私たちのもとへ来て下さったのです。

『こういうわけで、弟子たちのうち多くの者が離れて去って行き、もはやイエスとともに歩かなかった。そこで、イエスは十二弟子に言われた。「まさか、あなたがたも離れたいと思うのではないでしょう。」すると、シモン・ペテロが答えた。「主よ。私たちがだれのところに行きましょう。あなたは、永遠のいのちのことばを持っておられます。私たちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています。」』(ヨハネ　6:66～69)。他にイエス様のような方はいないのです。イエス様だけが永遠のいのちの答えです。本当に、他にイエス様を真似出来るような人はいないのです！

讃美歌　495

祈　り　父よ。ペテロのような強い信仰心を持てるようお助け下さい。イエス様が唯一の答えであることを受け入れられるよう、お助け下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

コニー・シンプキンス・トーマス
ケンタッキー州　マウントワシントン

10月30日(金)

素　晴　ら　し　い　勝　利

聖書朗読　ヨハネ　7:25～52

私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されていますが、それは、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において明らかに示されるためなのです。

Ⅱコリント　4:11

イエス様はご自身の目的をご存じでした。いずれ十字架に架かることもご存じだったのです。しかしイエス様の敵対者たちは、イエス様が王位を得たいのだと思っていました。十字架に架かることと、王位に就くことは全く逆のことではないでしょうか？ イエス様の敵対者たちは、主を追い詰め窮地に立たせることが出来ると思っていました。しかし、こうした彼らの策略も、神の御手の内にあるということを、主イエス様はご存知でした。

エルサレムに居た人々は困惑しました。イエス様は不敬な人だと噂で聞いていました。しかし、公衆の面前で話を語られる主に反論できる者はいませんでした。しかし、イエス様の敵対者たちは彼らの考えを変えませんでした。イエス様の敵対者たちは政治的に危機感を覚えていたのです。イエス様は人気がある人でした。なぜなら、奇跡を起こせる方でしたし、権威を持って教えられる方でした。また、イエス様を逮捕すれば暴動が起きたかもしれません。ですから、イエス様の敵は企み、タイミングを待ちました。そんな彼らの企ても、全て御国の素晴らしい計画の偉大な計画のために使われました。

私たちはいつかこの地上での命を終えます。しかし、それはあくまでも地上での命であり、天国での永遠の命が待っているのです。物理的な意味で死は怖いかもしれませんが、しかし、イエス様の復活、また私たち自身も復活しイエス様に会えると思うと、希望があります。

讃美歌　488

祈　り　父よ。イエス様の死の意味を忘れず居られるよう助けて下さい。あなたとともに永遠のいのちがあることを思い起こさせて下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

キース・ホッジ
テキサス州　マーシャル

10月31日(土)

あなたがここにいれば

聖書朗読 ヨハネ 11:1～3, 17～44

わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるので
す。 ヨハネ 11:25

私の父はかなり前に亡くなりました。実は父が亡くなる直前、父は集中治療室から通常の部屋へ移されていました。ですから、もうこれで最悪の状態は乗りきったのだと私たちは思っていました。通常の病室に移された父を私たちは訪問し、その後、食事のため私たちは外出しました。食事を終え戻ったところ、父は亡くなっていました。息を引き取った時にその場にいられたらと思いましたが、いたところで状況に変わりはありませんでした。

ラザロが死にかけているのをイエス様はご存知でした。イエス様は何かすることも出来ましたが、わざと特に何もしませんでした。一見冷たいように聞こえますが、私たちが思うより、素晴らしいことを考えておられたのです。

私は、子ども心に、聖書が記しているよみがえりの出来事を感動的だと思いました。いつだったか厳密には覚えていませんがとにかくそう思いました。しかし、ある時気づかされました。よみがえったラザロも、その後どこかの時点で地上生涯を終えているのです。これに気づかされたことは、私にとって、まるでハンマーで頭を打たれたかのような衝撃でした。

「イエス様、あなたの御業は結局永遠のものではなかったのですね・・・」と私は泣きました。

しかし、イエス様は私に次のような答えを下さいました。『わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きます。』(ヨハネ 11:25)。

いつ御国が来ても良いように、常に準備しておきましょう。

聖歌 638

祈り 父よ。一人子イエスを与えて下さり、ありがとうございます。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ビリー・シルベイ

カリフォルニア州 カルバーシティ

11月1日(日)

子どもたちへの命令

聖書朗読 ヨハネ 13:30～35

子どもたちよ。私たちは、ことばや口先だけで愛することをせず、行いと真実をもって愛そうではありませんか。 I ヨハネ 3:18

私には8人の従兄弟がいました。全員、12エーカー(14,690坪)の土地にある二軒の家に住んでいました。良く一緒に遊び、言い合いもし、時にケンカもしました。私たちの両親はそれを見てイライラしていました。よく祖母に「神の子であるのだから、みんな愛し合うべきよ」と言われました。困った親たちは、私たちが一緒に遊ぶことをしばらく禁止にしたりしましたが、私たちはコソコソと会ったりしていました。

イエス様は弟子たちを「子どもたち」と呼ばれ、「新しい戒め」を与えられました。三年間も主と一緒に過ごした弟子たちにとって、「互いに愛し合う」という教えは何か新しい教えだったのでしょうか。主は弟子たちをありのままに受け止めておられました。イエス様の歩みやイエス様と共に過ごした時間が、弟子たちに何を教えようとしていたのか、弟子たちは良く理解していませんでした。弟子たちは、主の愛に彼らがどう応えられるか、また主の愛をもって互いに愛し合うということについて、あまり理解できていませんでした。

私たちの生活は子どもだった頃に比べ変わりました。引っ越しをし、従兄弟たちとは一緒に住んでいません。しかし、休みの時期に会えることをとても楽しみにしています。従兄弟たちほど分かりあえる人々はいないからです。それは私たちが互いに愛し合っていたから故の結果でもあるのです。

讃美歌 461

祈り 父よ。これからも継続して互いに愛し合うことが出来るように助けて下さい。私たちがあなたの子として迎えて下さり、ありがとうございます。栄光をあなたにお返しします。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

メリー・エステス

カリフォルニア州 サウザントオークス